高齢者実態調査報告書
《本人調査・ひとり暮らし調査》

令和2年3月

大阪市
- 目次 -

1 調査概要
（1）調査目的
（2）調査設計（本調査・ひとり暮らし調査）
（3）調査項目
（4）回収状況
（5）報告書の見方

2 本人調査結果
（1）調査回答者の基本属性
問1 記入者
問2（1）本人の性別
問2（2）本人の年齢
問2（3）居住区
問2（4）居住年数
（2）世帯・住まいの状況
問3 世帯状況
問3 島井の状況
（3）健康状態、健康に対する意識、日常生活の状況
問4 要介護・要支援認定状況
問4 介護保険の認定申請をしないため理由
問5 日常生活の状況
問6 外出の頻度
問6 外出しない理由
問7 外出の目的
問8 介護予防のための取組み
問9 参加してみたい介護予防事業
問 運動やスポーツの頻度
問 かかりつけの医師の有無
問 かかりつけの医師の訪問診療の有無
問 かかりつけの歯科医師の有無
問 かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無
問 かかりつけ貯金師・薬局の有無
問 かかりつけ貯金師・薬局の在宅訪問の有無
問 歯の本数
問 かんで食べることの可否
問 飲み込みにくいと感じることの有無
問 医療の相談先
問 希望すれば在宅医療を受けられることの認知度
問 在宅医療の利用状況
問 人生会議（ＡＣＰ）の認知度
問 人生の最終段階に過ごしたい場所
問 人生の最終段階についての話し合いの有無
問 人生の最終段階について話し合った相手
問 話し合いの内容
問 日常生活への不安
（４）就労・地域生活の状況・意向、いきがいの状況
問 就労の状況
問 就労の意向
問 就労の意向がある理由
問 就労の意向がない理由
問 近所付き合いの有無
問 近所付き合いの有無
問 地域活動の効果
問 地域活動に参加するようになったきっかけ
問 地域活動に参加していない理由
問 地域貢献のための活動
問 近隣への支援と近隣からの支援
問 楽しみや生きがい
問 共食の頻度
（５）将来の介護や援助に対する考え方
問 介護が必要になった場合の暮らし方
問 特養入所意向
問 特養の整備と介護保険料
問 在宅生活継続のための支援
（６）生活の満足度
問 現在の健康状態
問 現在の生活の満足度
（７）地域生活支援
問 地域包括支援センター・ブランチの利用状況
問 地域包括支援センター・ブランチを知った経緯
問 地域包括支援センター・ブランチの利用目的と満足度
問 高齢者虐待の相談先の認知度
問 消費者被害の経験有無
問 認知症の認知度
問 認知症についての相談先
問 認知症の人の支援
問 孤立死に対する意識
問 孤立死を身近に感じる理由
問 地域での見守り活動の認知度と必要性
問 災害時・緊急時における避難の可否
問 ひとり暮らし 悪気時・緊急時に手助けを頼める人の有無  
問 災害時・心配事  
問 避難所生活するうえで必要なもの  
問 困ったときの相談先  
問 (8) 高齢者施策全般  
問  
問  
問  
問  
問  
問  
問  
問  
付問 特に重点を置いてほしい高齢者施策  
問 高齢者施策に関する意見・要望など（自由記述）  

3 ひとり暮らし調査結果  
（1）ひとり暮らし調査  
問 ひとりで暮らしている期間  
問 連絡や行き来する相手  
付問 一番親しくしている相手  
問 もっとも親しい相手の居住地  
問 もっとも親しい相手と連絡や行き来する頻度  
問 誰とも話さない日の頻度  
問 急なけがや病気などの時にすぐに来てくれる人の有無  
問 すぐに来てくれる相手  
問 身体的介護や生活介護が必要な状態になった経験  
問 身体的介護や生活介護が必要になった時の療養先  
調査内容についての意見やその他困りごと（自由記述）  

（2）本人調査における「ひとり暮らし世帯」回答結果（世帯比較）  
問 記入者  
問 本人の性別  
問 人年齢  
問 居住区  
問 居住年数  
問 要介護・要支援認定状況  
問 介護保険の認定申請をしていない理由  
問 日常生活の状況  
問 出外の頻度  
問 出外しない理由
問7 外出の目的
問8 介護予防のための取組み
問9 参加してみたい介護予防事業
問10 運動やスポーツの頻度
問11 かかりつけの医師の有無
問12 かかりつけの医師の訪問診療の有無
問13 かかりつけの歯科医師の有無
問14 かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無
問15 かかりつけ薬剤師・薬局の有無
問16 かかりつけ薬剤師・薬局の在宅訪問の有無
問17 歯の本数
問18 常に食べることがあるの可否
問19 医療の相談先
問20 希望すれば在宅医療を受けられることがある認知度
問21 在宅医療の利用状況
問22 人生会議（A C P）の認知度
問23 人生の最終段階に過ごしたい場所
問24 人生の最終段階についての話し合いの有無
問25 人生の最終段階について話し合った相手
問26 話し合いでの決めた内容の共有有無
問27 日常生活への不安
問28 就労の状況
問29 就労の意向
問30 就労の意向がある理由
問31 就労の意向がない理由
問32 近所付き合いの有無
問33 近所付き合いがほとんどない理由
問34 地域活動への参画の有無
問35 地域活動に参加するようになったきっかけ
問36 地域活動に参加していない理由
問37 地域貢献のための活動
問38 近隣への支援と近隣からの支援
問39 楽しみや生きがい
問40 共食の頻度
問41 介護が必要になった場合の暮らし方
問42 特養入所意向
問43 特養の整備と介護保険料
問44 在宅生活継続のための支援
問45 現在の健康状態
問46 現在の生活の満足度
問47 地域包括支援センター・ブランチの利用状況
問 〇〇 地域包括支援センター・ブランチを知った経緯
問 〇〇 地域包括支援センター・ブランチの利用目的と満足度
問 〇〇 高齢者虐待の相談先の認知度
問 〇〇 消費者被害の経験有無
問 〇〇 認知症の認知度
問 〇〇 認知症についての相談先
問 〇〇 認知症の人の支援
問 〇〇 孤立死に対する意識
問 〇〇 孤立死を身近に感じる理由
問 〇〇 地域での見守り活動の認知度と必要性
問 〇〇 災害時・緊急時にひとりでの避難の可否
問 〇〇 災害時・緊急時に手助けを頼める人の有無
問 〇〇 災害時・緊急時の心配事
問 〇〇 困ったときの相談先
問 〇〇 高齢者向け施設・事業の利用状況・意向
問 〇〇 老人福祉センターの利用状況
問 〇〇 老人福祉センターを利用していない理由
問 〇〇 高齢者入浴利用料割引事業の利用状況
問 〇〇 高齢者入浴利用料割引事業を利用していない理由
問 〇〇 高齢者向け福祉サービス・制度の利用状況・意向
問 〇〇 サービス情報の取得方法
問 〇〇 自立支援・重度化防止に役立つケアマネジメントの実施意向
問 〇〇 住み慣れた地域での自立した生活に対する見解
問 〇〇 重点を置いてほしい高齢者施策
付問 〇〇 特に重点を置いてほしい高齢者施策
１ 調査概要

(1) 調査目的
(1) 本人調査
大阪市に居住する70歳以上の高齢者を対象に、世帯の状況、日常生活の状況、就労・いきがいの状況、地域活動・社会参加の状況、将来の介護に対する考え、地域生活の状況、高齢者向けサービスの利用状況と利用意向などを把握し、大阪市における今後の高齢者施策及び介護保険事業制度の運営に資する基礎資料を得ることを目的に実施した。

(2) ひとり暮らし調査
大阪市に居住する70歳以上のひとり暮らし世帯の高齢者を対象に、健康状態、日常的なつながり、緊急時の支援者の状況等を把握し、大阪市における今後の高齢者施策及び介護保険事業制度の運営に資する基礎資料を得ることを目的に実施した。

(2) 調査設計（本人調査・ひとり暮らし調査）
- 調査地域：大阪市内全域
- 調査対象：大阪市内に居住する満70歳以上の高齢者から無作為に抽出した8,000人
  （ひとり暮らし調査は6,000人のうち、ひとり暮らしの方が対象）
- 調査方法：郵送配布、郵送回収
- 調査期間：令和元年7月8日（月）から令和元年9月30日（木）

(3) 調査項目
(1) 本人調査
- 調査回答者の基本属性
  記入者、性別、年齢、居住区、居住年数
- 世帯・住まいの状況
  世帯状況、昼間の状況
- 健康状態、健康に対する意識、日常生活の状況
  要介護・要支援認定の状況、日常生活の状況、外出の頻度・目的、介護予防のための取組み・参加意向、運動習慣、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師の状況、口腔状態、医療の相談先、在宅医療の利用状況、人生会議（A C P）の状況、日常生活への不安
- 就労・地域生活の状況・意向、いきがいの状況
  就労に関すること、地域・近隣との関わり、楽しみ・生きがい、共食の頻度
- 将来の介護や援護に対する考え
  今後の暮らし方、特養入所意向、特養整備と介護保険料、在宅生活継続のための支援
- 生活の満足度
  健康状態、生活の満足度
- 地域生活支援
  地域包括支援センター・プランチの利用状況、高齢者虐待の相談先、消費者被害の経験有無、認知症に関すること、孤立死に対する意識、災害時・緊急時の支援、困ったときの相談先
高齢者施策全般
高齢者向け施設・事業の利用状況・意向、高齢者向け福祉サービス・制度の利用状況・意向、サービス情報の取得方法、自立支援・重度化防止に役立つケアマネジメントについて、重点を置くべき高齢者施策

（2）ひとり暮らし調査

・ひとりで暮らしている期間
・日常的なつながり
　　連絡や行き来する相手・相手の居住地・相手との交流頻度
・緊急時の支援者の有無
　　すぐ来てくれる相手
・介護が必要なときの療養について
　　介護が必要な状態になった経験、療養先

（4）回収状況

（1）本人調査

<table>
<thead>
<tr>
<th>調査対象者</th>
<th>回収数</th>
<th>集計対象外数</th>
<th>有効回答数</th>
<th>有効回答率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

口 集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したもの）

病院に入院中 特別養護老人ホームや介護老人保健施設等の施設に入所中 本人の意思が確認できない 転居 死亡 その他 白票 計

【介護保険料段階】有効回答数を全体とした各段階の人数（上段）と割合（下段）

<table>
<thead>
<tr>
<th>第1段階</th>
<th>第2段階</th>
<th>第3段階</th>
<th>第4段階</th>
<th>第5段階</th>
<th>第6段階</th>
<th>第7段階</th>
<th>第8段階</th>
<th>第9段階</th>
<th>第10段階</th>
<th>第11段階</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（2）ひとり暮らし調査

<table>
<thead>
<tr>
<th>本人調査</th>
<th>ひとり暮らし</th>
<th>ひとり暮らし割合</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>有効回答数</td>
<td>有効回答数</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
（5）報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100％にならない場合がある。）
- 図表上の「MA %」という表記は複数回答（の略）の、また、「LA %」という表記は制限つき複数回答（の略）の意味である。
- コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- 報告書記載の「前回調査」とは、平成...年7月実施の高齢者実態調査の結果を示している。